

2023 年 7 月 17 日 やけどについて

【子どものやけど】

小さな子供は好奇心が旺盛で、何にでも興味を持ち、手を伸ばして触ろうとします。

子供のやけどの原因として、味噌汁・炊飯器の蒸気・アイロンやストーブなどが多くみられると思います。

やけどは深さにより、症状が異なります。

- ①皮膚の表面が赤くなっている時で水ぶくれにならない程度。
- ②水ぶくれ（水疱）が出来ているような場合。
- ③脂肪・筋肉といった皮下組織まで達しているやけどで皮が黒く焦げていたり、白くなっているような場合。

子供がやけどをすると驚いて焦ってしまうかもしれませんが、落ち着いて順番に対処しましょう。

1. 冷やす。

流水で冷やします。この時直接患部に当ててしまうと水の勢いで水ぶくれが破れてしまったりするので、少し上の部分に当てるようにしましょう。服を着ている部分をやけどした場合は、無理に脱がさず服の上から冷やします。

2. やけどの様子を見る。

冷やしながらかやけどの程度を確認します。

病院への受診の目安として、やけどの深さ②以上の場合は皮膚科受診を検討しましょう。

やけどは数日経過しないと判定できません。軽症だと思っても徐々に悪化する恐れがあるので、注意しましょう。